

令和元年度第2回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和元年7月25日（木）14：00～15：40

場 所：琉球大学医学部附属病院3階がんセンター

出席者：〈がんセンター〉8名

傳道聡子（県立中部病院）、仲宗根るみ（北部地区医師会病院）、島袋百代（パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト）、樋口美智子（沖縄国際大学）、伊波義之（沖縄県健康長寿課）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院）、大久保礼子（琉球大学医学部附属病院）、山田綾美（琉球大学医学部附属病院）

〈スカイプ〉2名

金城美奈子（県立八重山病院）、慶田博子（県立宮古病院）

欠席者：1名 仲宗根恵美（那覇市立病院）

【報告事項】

1. 令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨

資料1に基づき、令和元年度第1回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨が承認された。

2. がん患者ゆんたく会（4～6月）

資料2-1～2-3に基づき、令和元年4月～6月に各拠点病院で開催されたがん患者ゆんたく会について報告があった。県立中部病院では、各月1名の新規参加者がおりその方の質問に答える形でフリートークが行われ、先進医療のゲノム治療についての質問が多くあったと報告があった。パンキャンジャパン沖縄では、5月に市民公開講座が開催された。膵臓がんは関心の高いトピックスとなっており、約110名の患者さん・家族などの参加があった。6月のサロンでは、患者会の存在を知り、同じ仲間とお話することができて良かったと声があり、他3病院のゆんたく会についても院内掲示やサロンで紹介していきたいと報告があった。増田委員より、同じがん種の仲間がいれば良いとの声が多く、可能であれば膵臓がんの方でピアサポートの研修を受講して欲しいとの意見があった。

3. がん相談件数（4～6月）

資料3-1～3-7に基づき、令和元年4～6月の各拠点病院のがん相談件数について報告があった。北部地区医師会病院では、緩和ケア専従看護師からの誘導や苦情等の対応窓口を通しての相談があり、相談件数が増えている。相談センターの場所の周知が足りていないが、院内掲示などの広報にてがん相談窓口があることは周知出来てきていると報告があった。県立中部病院と県立宮古病院では、主治医からの誘導が多くなってき

ている傾向があると報告があった。県立八重山病院では、就労支援において職場に病気のことを伝えにくいと言う患者さんに対しては、職場へ出向いて仲介に入る事例もあったと報告があった。琉大病院では、院内外 3 対 1 程度の割合で、院外の患者さんからの相談も増えてきており、ゲノム医療に関しても相談が数件あったと報告があった。

4. がん相談件数集計（4～6月）

資料 4 に基づき、山田委員より令和元年 4～6 月の沖縄県がん相談件数集計について報告があった。各月、新規の相談者が半数を占めており、パンフレット等の紙媒体での案内より、医師・看護師からの誘導が多く確実に相談センターへ繋がってきていると報告があった。また、相談集計項目の内容について確認があり、階層のある項目に対しては小項目でカウントすることの周知があった。

増田委員より、相談を受ける中で 39 歳以下の AYA 世代がん患者さんが孤立している実感はあるかと質問があった。仲宗根委員より、自分で情報を検索したり自分で行動を起こす力があることが多く医療者との関わりが少ないのではないかと意見があった。慶田委員より、周囲に援助を求められず家族が困り孤立してしまうケースがあったと報告があった。

5. がん相談支援センターの広報（4～6月）

資料 5 に基づき、山田委員よりがん相談支援センターの広報について報告があった。新聞の無料広告の掲載記事を見ての問い合わせの件数が増えている傾向があり、引き続き 2 社へ依頼を行うこととなった。

6. 令和元年度部会計画（各施策）

資料 6 に基づき、大久保委員より令和元年度部会計画(各施策)について報告があり、それぞれの施策について各病院での取り組み状況の確認が行われた。

〈施策 1〉がんサポートハンドブックの作成協力

部会委員から 1 人推薦し、編集委員として協力する予定。

〈施策 2〉セカンドオピニオンリストの作成

7 月末〆切で県下のがん診療を行っている病院へアンケートを実施した。8 月中にとりまとめホームページアップ予定。

〈施策 3〉相談支援センターの周知に関する院内ガイドラインの作成

統一のひな形作成を検討中。

〈施策 4〉 がん相談支援センターの広報

新聞広告などで県民の方への周知、院内ではチラシの配布を実施。

〈施策 5〉 がん相談員実務者研修会の運営

当日配布資料に基づき、傳道委員より県立中部病院・北部地区医師会病院では、「がんゲノム医療」をテーマに相談員としての役割など検討できる研修会を10月5日に計画していると報告があった。増田委員より家族腫瘍と限らずゲノム全般の内容が良いのではないかと意見があった。

大久保委員より、琉大病院では「妊孕性」のテーマで開催予定だが、学習目標とする切り口が複数あるため様々なトピックスがあるため随時メーリングリスト等で内容を検討し企画を行いたいと意見があった。

〈施策 6〉 がん相談員マニュアルの作成

現在たたき台を作成中、10月ごろを目途に委員へ回覧し検討して頂く予定。

〈施策 7〉 PDCA チェックリストの改訂・実施

国がんより提示された新しいチェックリストの提示に基づき、年度末頃に一斉実施していく予定。

〈施策 8〉 患者サロンネットワーク会の開催

資料7に基づき、山田委員より8月17日にがんサロンネットワーク会（連絡会）を開催すると報告があった。今年度はネットワーク会としては、サロン世話人等を中心に患者会の運営方法について意見交換（連絡会）を年2回、講義などを交えた公開講座のような形を年1回開催する予定。

樋口委員より、この会の対象者や、内容が会議なのか講演なのか分かりにくいという意見があり、事務局から呼びかけ対象の各患者会へ電話連絡し説明することとなった。

〈施策 10〉 産業保健関係者と医療関係者の意見交換会の実施

就労支援に関するトピックスについて意見交換会を企画する予定。一昨年前は、がんサロンネットワーク会にて社労士・ハローワークナビゲーターを招き実施されたと報告もあり、今年度の内容についてはメール等で引き続き検討していく予定。

増田委員より、2020年1月14日又は1月29日に「治療と仕事の両立支援セミナー」を産業保健センターが開催すると情報提供があった。

7. がんサロンネットワーク会

報告事項6〈施策 8〉において検討された。

8. その他

当日資料に基づき、増田委員より 8 月 1 日、南部医療センターにて「小児及び AYA 世代のがんの支援の在り方について」の講演会を開催することについて周知があった。

【協議事項】

1. 中皮腫キャラバン隊とのセミナー実施について

資料 8 に基づき、中皮腫キャラバン隊よりセミナーの共同開催の依頼があったこと、セミナー実施について協議が行われた。セミナーは相談支援部会も共催として参加することが承認された。セミナーの内容についてはキャラバン隊の企画案に沿って、講師を呼吸器内科もしくは外科の医師へ依頼する予定となった。講演会後のがん相談支援センターの一般相談会やピアサポート紹介など行うのも良いのではないかとの意見があり、中皮腫キャラバン隊へ提案する。大久保委員が取りまとめ、開催が決定したらメーリングリストにて周知するので、部会委員は当日のスタッフとして参加するよう依頼があった。

2. その他

- (1) 次回、令和元年度第 3 回情報提供・相談支援部会開催日について
令和元年 10 月 17 日（木）14：00 より開催予定。